

【汗と涙と出会い】

今日から7月、カレンダーは12枚のうち半分の6枚になりました。めくられた6枚を思い返していくと、あのときあの子がこんな顔をしていたなあ、生徒の顔が浮かんできます。3月、卒業式で式辞を読んでいるときに、卒業生の一人と目が合いました。二人でほんのちょっとだけ微笑みを交わしたあの一瞬の彼女の顔が印象的です。直近では、やはり6月11日～13日の修学旅行のときの3年生の顔。中でも、広島平和記念公園にある資料館で、一つ一つの展示物を見ているときの顔です。

それは、生徒と一緒に展示物をみている時のこと、私の目の前に、子どもの衣服が展示されていました。8月6日に身に付けていたものでしょうか、汚れて破れてぼろぼろの衣服には、名札が縫い付けられていました。ちょうど同じ名まえの生徒がすぐ近くにいたので、「ほら、これ見てみ」と衣服を指さすと、その生徒は一瞬「はっ」とした表情を見せ、そのあとしばらくその展示物の前を離れようとしませんでした。真剣なまなざしではあるけれど、苦しそうにも見えました。同じ名まえの子のものということ、戦争や原爆のことをぐっと身近に感じて、その分苦しかったのかもしれない。

資料館の見学時間は約50分。3年生の生徒たちには、とても十分ではなかったようです。「もっと資料をじっくり読みたかった」「後半の展示物もゆっくり見たかった」という感想が、1日目の日記に書かれていたそうです。心残りを作ってしまったことを残念に思う反面、そこまで興味をもって見学した生徒たちを誇らしく思いました。いつか大人になってからまたぜひ資料館を訪れてほしいと思います。

2日目の夜のレクリエーションでは、打って変わって、はじける笑顔が見られました。引率の養護教諭は、3年生の生徒が6年生の時の修学旅行にも同行していたので、違いをつぶさに感じたのでしょう。小6の時は、担任の先生の手助けが随所にあったのに、中3では全部自分たちだけで進行していて、全員で楽しんでいる！ 3年間の成長がすごい！ と興奮気味に教えてくれました。

「体を動かすと流れてくるのは、汗。心が動くときみ上げてくるのは、涙。空気が動くと生まれてくるのは、出会い」とは、手話通訳等で活躍された丸山浩路氏の言葉です。修学旅行の3日間には、汗を流す場面も、涙がこみ上げる場面も、そしていろいろな出会いもありました。

汗、涙、出会いがあれば感動と成長があります。感動と成長を実感できる活動を、残り6枚のカレンダーが示す日々でも、取り組んでいきます。

校長 上代 婦美子



6月は各学年、大きな行事がありましたのでほんの少しですが様子を紹介します。

【3年生】

3年生は広島修学旅行（6月11日～13日）がありました。平和記念式公園で平和な世の中を作ることを誓い、平和について考える良いきっかけになりました。



【2年生】

2年生は職場体験（6月13日・14日）に行きました。事業所の方々の仕事に対する思いを知り、感謝の気持ちを持つことができました。



【1年生】

1年生は貝塚市の蕎原にある府立少年自然の家に宿泊学習に出かけました。オリエンテーリングやキャンプファイヤー、カレー作りなどをして、仲間と協力する楽しさと大切さを学びました。



